



①対面式の様子②富澤さんの指導を受けながらニンニクの皮むきをする生徒たち③お別れ式での記念写真④農業経験のない生徒にはすべてが新鮮。とびっきりの笑顔も見られました。



町内で農業・農村体験

今年も、栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会（西田秀樹会長）が進めている「農業・農村体験事業」の宿泊体験受け入れが始まりました。6月29日、修学旅行で来道した大阪府開明高校の生徒14人が大型バスで雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスに到着。会員3戸の農家が出迎え、対面式の後、生徒たちを受け入れました。

全てが初体験

生徒たちは受入農家宅に宿泊し、野菜の管理作業などを体験。富澤敏道さんの家では、ニンニクの皮むきを生徒4人が初体験しました。生徒たちは初めての作業で慣れない様子でしたが、一生懸命に取り組んでいる姿に、富澤さん夫妻も感心。

子どもたちを受け入れて6、7年になります。いろいろな生徒がいて、受け入れが一つの楽しみになっています。今回の生徒は作業だけではなく生活面もきちんとしていましたよ。子どもたちには短期間ですが、北海道や栗山町の農業・農村を目で見て肌で感じてほしいです。この経験は人生の1ページになります。経験したことを大切にできる人になってくれればうれしいですね。



農業・農村体験受入農家 富澤敏道さん・八重子さん

同会では、来年2月まで宿泊体験や日帰り体験を受け入れ、都市と農村の交流を図っていきます。

会話をしながら和気あいあいとしたやり取りを見ているとは、とても印象的でした。

この経験を今後にかかす

生徒たちは、1泊2日の体験を通して短いながらもさまざまな経験をしました。お別れ式では「大自然の中で、都会ではできないたくさん経験がすることができました。また、自分たちが当たり前のように口に入っている食べ物、農家の支えがなくては作られていることがわかり、感謝の気持ちが芽生えました。この2日間の経験を、今後に生かしたいです」と感想を話してくれました。

グリーン・ツーリズム特集

新たな出会い 広がるふれあい

都会に住む人が、自然に恵まれた農山漁村地域で自然や文化、人々との交流を楽しむ「グリーン・ツーリズム」。食の安全・安心や自然・環境への関心が高まる中、都市部では「ゆとり」や「やすらぎ」を求める人が増えてきており、グリーン・ツーリズムの役割も高まっています。

今回の特集では、栗山町が行っている農業・農村体験や農産物直売などの取り組みを通じた、グリーン・ツーリズムによる新たな出会い、広がるふれあいをお伝えします。

農業・農村体験事業のこれまでの取り組み

平成19年に11戸の農家で始まった農業・農村体験の受け入れ。修学旅行で来る大阪や兵庫といった関西圏の高校生を中心に受け入れをしています。受入人数は年間300人を超え、複数年続けて訪問する高校もあります。受入農家では、農業体験だけではなく栗山町をより知ってもらおうと町内を案内してくれる方もおり、「栗山」らしい農業・農村体験が行われています。

農業・農村体験受入実績

	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度
受入農家数	16戸	12戸	12戸	18戸	39戸	50戸
受入回数	19回	17回	19回	19回	16回	22回
受入人数	367人	318人	347人	363人	316人	438人

参考：栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会総会資料から抜粋



# 主な農産物直売の取り組み



栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会に所属する農家直営の直売所は、それぞれがこだわりを持って生産した農産物を販売しており、新鮮さはもちろんのこと、愛情がたくさん注がれています。また、生産者と会話することができ、野菜の調理方法や保存の仕方など、親切に教えてくれます。ぜひ、足を運んでみませんか。

## 【農産物の直売所店舗】

名称	営業期間	営業時間	定休日	住所	電話番号
値ごろ市	通年営業 (冬期間 11月~4月)	(5~10月) 9:00~18:00 (11~4月) 10:00~17:00	(5~10月) 無 (11~4月) 不定休	栗山町 字湯地 95	72-2977
つくしんぼう	通年営業	10:00~16:00	不定休	栗山町 字富士 561	72-4528
中川新鮮野菜直売所	6月下旬~10月下旬	7:00~18:00	無	栗山町 字北学田 43-3	72-4427
農家の直売所	7月下旬~9月下旬	9:00~17:00	無	栗山町 字継立 160-2	75-2771
キングメロン研究会直売所	6月下旬~8月中旬	9:00~18:00	無	栗山町 字滝下 766-1	75-2556
高木果房	7月~12月	9:00~18:00	無	栗山町 字北学田 248-8	72-5215

## 【農産物の農家直売】

名称	営業期間	営業時間	定休日	住所	電話番号
すこやか大地の会	8月~12月	注文はFAX	無	栗山町 字三日月 36-4	(FAX) 72-5187
里のやさいくりやま屋	6月中旬~10月末	8:30~9:30	土曜日のみ 開催	札幌市 北海道 青少年会館	72-3868
大平農園	5月~10月	(要連絡)		栗山町 字円山 264	85-2379
坂口ファーム	7月~12月	8:00~17:00	無	栗山町 字北学田 617	72-3868
(有) 土門農園	6月下旬~8月中旬 (要連絡)	10:00~16:00	不定休	栗山町 字円山 363	85-2201

## グリーン・ツーリズム 写真コンテスト

思い出詰まった写真を大募集!

【応募期間】 10月31日(月)まで

【問い合わせ】 栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会事務局

☎: 73-7515 FAX: 73-2160 (町産業振興課内)

◇大賞には5,000円相当の町特産品を贈呈します。  
◇詳しくは事務局にお問い合わせください。



都市と農村交流について熱く語る、西田秀樹会長

# 栗山町の 農業を支える 一翼を担いたい

農業を通して、都市と農村の交流に取り組んでいる栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会。グリーン・ツーリズムに取り組み意義や今後の目標などについて、西田会長に話をうかがいました。

「子どもたちに農業・農村の楽しさを伝えたい」と話す、栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会の会長を務める西田秀樹さん。

会長になって5年。厳しい農業情勢の中、「グリーン・ツーリズムの活動は、生産者と消費者との架け橋になるので、今後もさまざまな活動をしていくが必要」と語ります。

西田会長は、農業・農村体験の受け入れをはじめ、農産物の農家直売も行っています。「子どもたちを受け入れしていると、教えられることもあって楽しいですよ。また、農産物

グリーン・ツーリズムの活動は生産者と消費者との架け橋になる。

「いろいろな方々と連携して、町内外に栗山町の農業をPRしたいです。5年後、10年後を見据えた取り組みをしていきたいです。そして、この組織が栗山町の農業を支える一翼を担えるように、これからも取り組んでいきたいと思っています」。

## 栗山町グリーン・ツーリズム 推進協議会

平成10年に設立。農産物直売、農産物加工、ファームイン、観光農園などグリーン・ツーリズム活動を行っている団体・個人およびこれから実施しようとしている者で構成。人とのふれあいを基本に、農業・農村体験やイベント、農産物の直売などを通して、消費者との交流や農業理解の推進を目的に取り組んでいる。

## 一緒に「新たな出会い」しませんか



栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会では、農業・農村体験の受け入れに参加していただける方、また、協議会員になれる方を募集しています。都市と農村交流で「新たな出会い」をしてみませんか。

【問い合わせ】 栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会事務局

☎: 73-7515 FAX: 73-2160 (町産業振興課内)